



### 農山村地域調査(農業集落調査)

経営体の生産基盤や生活基盤である農山村地域の現状を把握するための調査で、全国の農業集落が対象です。調査は、集落に精通されている代表者の方などをお願いします。

#### 調査内容:

寄り合いの開催、地域活動の実施状況、地域資源の保全、実行組合の有無

#### 調査期間:

令和元年12月上旬～令和2年2月末

#### 調査方法:

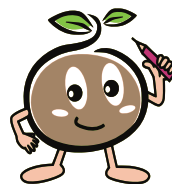
郵送による調査票の配布と回収を行います。  
なお、オンラインによる回答も可能です。



ご協力をお願いします!

## 今の農林業を知ること未来を作る、それが農林業センサスです。

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。



### あなたの個人情報等は法律で守られています。

農林業センサスは統計法に基づく基幹統計調査です。調査内容は統計の作成や各種統計調査の名簿作成など、定められた目的以外に使うことを法律で禁じているので調査の結果が税金の徴収などに使われることは一切ありません。また、調査員には守秘義務があり、調査で知り得た情報が他人に漏れることもありません。



農林業の「今」を知り、  
未来へつなげる

## 2020年農林業センサス

農林業の実態を知ることによって見えてくる様々なことから日本の農林業の未来を考えていきます。



令和2年2月1日



## 農林業経営体調査

農家や林家、会社や集落営農など、農林業を営んでいるさまざまな経営体の実態を正しく把握するための調査で、全国の農林業経営体が対象です。

農林業経営体とは、一定規模以上の農林産物の生産を行うか、又は委託を受けて農林業作業を行う事業者をいいます。

### 調査内容:

経営の状態、世帯の状況、労働力、作業の受託、耕地、農業生産の概況、農産物の販売、経営の多角化、山林・林業作業、素材生産など。

### 調査期間:

令和元年12月中旬～令和2年2月末

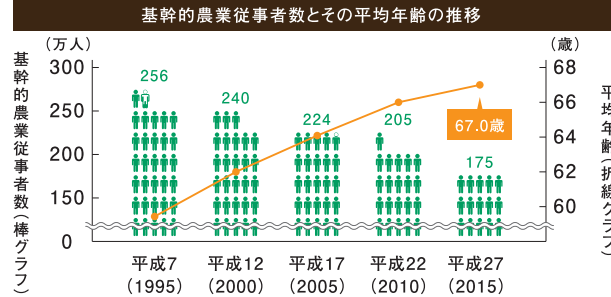
### 調査方法:

調査員による調査票の配布と回収を行います。  
(希望がある場合は調査員が調査票の記入をお手伝いします。)  
また、オンラインによる回答も可能です。



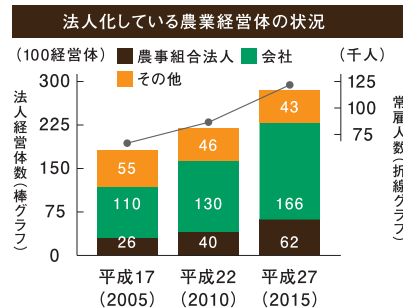
## 農林業センサスの結果分析

### ● 基幹的農業従事者の減少と高齢化



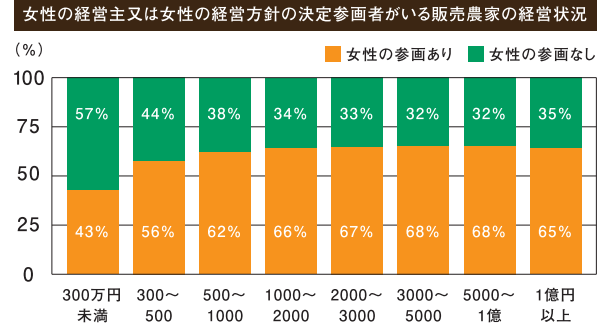
基幹的農業従事者（普段の仕事として主に自営農業に従事している者）は、平成27（2015）年には175万人となり、10年前と比べ22%減少し、平均年齢もこの10年で64.2歳から67.0歳へと、基幹的農業従事者の減少・高齢化が進行している状況が見えます。青年層の新規就農者などの新たな担い手の確保・定着を促進していく必要があります。

### ● 法人経営の進展



法人経営体数もこの10年で40%以上増加しています。法人による常雇の雇用者数も70%以上増加するなど雇用の拡大につながっています。

## ● 女性の農業経営への参画状況（2015年）



農業経営に女性が参画している経営は、販売金額が大きく、農産物の加工など多角化に取り組む傾向も強く（加工に取り組む約7割の経営に女性が参画している。）、農業分野における、さらなる女性の活躍が期待されています。

## 地域農業の姿

農林水産省では地域農業に関するデータを提供しています。

### 「わがマチ・わがムラ市町村の姿」

都道府県や市町村ごとの農林水産業の状況等について、統計データの検索やランキングの表示ができます。



【農林水産省ホームページ】

ホーム > 統計情報 > わがマチ・わがムラ  
<http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>

### 「地域の農業を見て・知って・活かすデータベース」

2015年農林業センサスの農業集落を単位とし、農林業センサスや他の統計調査のデータを整理したデータベースで、地域に密着した分析を行うことができます。



【農林水産省ホームページ】

ホーム > 統計情報 > 地域の農業を見て・知って・活かすDB  
～農林業センサスを中心とした総合データベース～  
[http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku\\_data/](http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/)

